

JSOI 認定研修施設セミナー

JSOI 認定施設 一般社団法人東京形成歯科研究会主催

テーマ “美容口腔外科への理論と実際”

— 顎骨の保存と再生における顔貌とのかかわり —

ヒトの歯は歯槽骨に埋植している。もし何らかの原因で歯を喪失すると、歯槽骨の大半が吸収するばかりでなく、基底骨にまで顕著な変化を及ぼす事がある。可撤性義歯の粘膜面あるいは固定性ブリッジのポンティック基底面に介在する plaque内のbacteriaが口腔粘膜上皮細胞を刺激し、プロスタグランジン (PGE2)による破骨細胞の活性化が惹起され、ついには骨吸収現象が表れる。顎骨は、加齢と共に歯の喪失歯数が増し、atrophyあるいは骨レベルの顕著な減少が見られるようになる。顎骨における1/4~1/3の減少率を大腿骨等の体幹骨に充当すると、健康者の170cmの身長が、56.7~127.5cmに短縮し、矮小人に変化した事に相当する。

上下顎骨は顔面骨の一部で、顎骨の骨高減少に伴う変化は、顔面に占める中及び下顔面の垂直ディメンションを大きく変化させると共に、それらに付随した周囲軟組織にも重篤な変化を与え、年齢以上の老人顔貌を導く。患者の日常生活の変化、あるいはまたQOLの観点から、従来型の歯科治療の急速な改善が望まれている。

近年インプラントの臨床的有効性で、歯科治療の新たな可能性が見出されるようになり、すなわちインプラント治療は、咀嚼機能の回復・顎骨再生はもちろん、顔貌の変化ならびに精神的満足度に大きく関与する。今回、研修施設セミナーを通じてその理論と実際について、症例を含めて報告したい。



演者

(一社)東京形成歯科研究会 施設長
顎顔面口腔美容外科アカデミー 代表
AISA FORUM FOR AESTHETIC SURGERY
&MADICINE 学術委員

医学博士 奥寺 元



コメンテーター

一般財団法人日本美容医学研究会
一般社団法人日本美容外科学会

会頭 梅澤 文彦

座長：鈴木 正史 (一社)東京形成歯科研究会 副会長
菊池 龍介 (一社)東京形成歯科研究会 理事



顎骨欠損における美容外科的障害



インプラントにおける顎骨再生と保全

Application	Saliva flow rate (ml/min)	Vital capacity (l)	Blood flow rate of descending branch (F%)
Full Denture	0.67 \downarrow (± 0.36) **	1.98 \downarrow (± 0.90) **	17.81 \downarrow (± 5.59) **
Implant	1.02 \uparrow (± 0.51)	2.28 \uparrow (± 0.88)	27.84 \uparrow (± 9.07)

n=10 (M:2, F:8) *Mean age (57.10 \pm 9.00) **P=0.01

インプラント埋入の生理的異差

日程 2017年 2月11日(土) 11:00~11:50 ※時間帯は変更となる場合がございます。

会場 京王プラザホテル 4F「花A」〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

セミナー主催 JSOI認定施設 一般社団法人東京形成歯科研究会

JSOI 認定講習会受講生募中



東京形成歯科研究会主催 (公社) 日本口腔インプラント学会認定講習会の受講生を募集しています。詳しくは下記「お問合わせ先」迄。

会員募集中 詳細は以下「お問合せ先」までご連絡願います。



認定医 取得可能 東京形成歯科研究会では随時“会員”を募集しています。

国際血液・幹細胞臨床応用会議 ISBB 認定医
国際顎顔面口腔美容外科アカデミー 認定医 他

東京形成歯科研究会再生医療等委員会



厚生労働省認定

第3種の再生医療等提供計画に係る審査等業務を希望される実施医療機関は、下記までお問い合わせください。

お問合せ先



一般社団法人 東京形成歯科研究会 (厚生労働省認定 再生医療等委員会 公益社団法人 日本口腔インプラント学会 認定施設)
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 ウェルネスオクテラビルズ 3F オクテラメディカル内 事務局 担当：押田浩文
TEL 03-3919-5111 FAX 03-3919-5114 E-mail okudera@carrot.ocn.ne.jp
URL <http://www.tpdimplant.com/>